

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 秋月 康敏

山名	織山縦断		山行名	織山と観音寺城跡めぐり				
ルート	能登川駅～善勝寺～猪子山～雨宮龍神社～地獄越～織山～桑實寺～安土駅							
山行日	1月14日		天候	快晴				
参加者	リーダー：秋月 康敏 サブリーダー：守口 實 男性：金本、山口、石田、西上、園上、村上、竹原、倉光、宮野、岡部 女性：河野、竹原、倉光、徳田 合計： 16名							
			コースタイム					
			地名		時：分	地名		時：分
			能登川駅	集	9：33	観音寺城跡	着	13：40
				発	9：50		発	13：55
			善勝寺	着	9：50	桑實寺	着	14：10
				発	9：55		発	14：50
			猪子山	着	10：35	安土駅	着	15：45
				発	10：45		発	
雨宮龍神社	着	11：20		着				
	発	12：05		発				
織山	着	13：00		着				
	発	13：20		発				
観音寺城跡：背面は往時の石垣								
山行報告 快晴に恵まれ少し冷たい風があり歩きやすかった。駅前商店街のお店で道を確認、善勝寺に向う。善勝寺の手前に地福寺地藏菩薩があり、小さなお地藏さんがいっぱいあり心を和ませてくれた。そこを越えると階段続きの急登、北向岩屋十一面観音でゆっくり景色を楽しんだ。空気は澄んでいて、眼下には近江商人の街並から琵琶湖など、清々しくゆったりした気持ち！猪子山はわずか 267mだが、涼しいながらもいい汗をかいて最高！長い階段登りが続き、雨宮龍神社で暖かいお日さんの下でゆっくり昼食。雨宮龍神社は推古天皇時代の創始、弘法大師による雨乞いの実施の社殿だそうです。 織山山頂（432m）の標識は、2005年に山口さん達と来た時のものと変わらず同じ物だった。観音寺城跡では守口さんに特別講演を。佐々木六角氏から京極氏・京田辺の沢井家までの続き柄など、永い歴史の流れを簡単に手際よい説明に全員が楽しく聞いた。観音正寺から桑實寺へと計画していたが、少し遠回りになるので桑實寺へ直行した。通り抜け代（拝観料）が300円、ゆっくり休憩タイムを取って織田信長の館へ向かい、その後安土駅に向かった。行程中で登り下りは4～5回あり、楽な歩きばかりではなかったが城跡以外にも史跡がいっぱいあり、満足できた史跡探訪であった。 当初計画は全工程で6～7時間とみていたが、計画通り6時間で駅に到着した。 お疲れさまでした、又次の山城巡りでお会いしましょう。								
ヒヤリハット								

史跡探訪を始めて 17 回目になる。今回の織山・観音寺城跡は 2005 年に白波瀬さん（OB）が CL で山口さん達と行った印象深い場所だ。あの時は村上さんも一緒に行った、入会后間もない頃だった。

近江八幡の市役所に依頼して、観光パンフレットを送ってもらった。観光地図から見て、織山の縦断コース約 5 時間コースだ。今までは山城跡に興味を持つ人に声かけしていたが、守口さんと相談結果、かなびに掲載しようという事にした。結果、総勢 16 名の参加となった。

直Qバス中 突然ケータイが鳴った。誰かと思うと西上さんだ。「もう既に京都駅に来て待っている」と言う。直 Q バスが約 5 分遅れたので集合場所まで走った。西上さんはやる気満々だ！

集合 既に全員揃っていた。幹事役の私が最後に着いてどうする…。団体割引を竹原女史が世話してくれ、窓口で切符を買って全員に配って…と大変な仕事だが、他の女性の応援を得て、結果往復で 1500 円で行けるようになった！本当にお世話になりありがとうございました。

能登川駅 降りたがどっちへ向かったらいいのかわからない！とりあえず駅前に出た。前方にお店があったので教えてもらいに行った。「善勝寺へはどう行くのですか」親切に教えてくれて駅前待機のメンバーを呼んだ。山口さんはお店に配慮してお水を買って全員に配る、本当によく気のつく方だ！

地福寺の地藏菩薩 善勝寺の手前に地福寺があった。入口付近に小さな地藏さんがいっぱいあって、

「可愛らしい…」と女性の声だ。地福寺・地藏菩薩は応仁の乱の戦火を避けるため、この近江の国に移ってきたと記されている。慈覚大師が諸人を救うことを願い作られたものという。



善勝寺は急な上り坂の上 竜宮城を想わせる善勝寺山門にあり、竜宮城を彷彿とさせる山門だ。

地福寺地藏菩薩のお地藏さん

北向岩屋十一面観音 坂上田村麻呂が鈴鹿の鬼賊を討伐の際、織山三嶺の東北端烏帽子岩窟内に十一面観音菩薩の石像を安置して祈願されたと伝えられている。大きな祠があって戸を開けて中へ入りお参りするようになっていた。大きな岩が祀ってり、香料の匂い、霊験あらたかな感じがする。横に展望台があり琵琶湖の雄大な景色で気持ちが和み、すばらしい景色だ。10 時 35 分猪子山 267m 到着、計画通りだ。



北向岩屋十一面観音からの爽快な眺め

雨宮龍神社 急登な階段を登り、時おり通り抜ける爽やかな冷風に気持ちよくなり、改めて快晴の日の山行のすばらしさを確認した。約1時間の登りは結構キツイ！正月明けの少し鈍った体に鞭うって！11時半に到着。推古天皇時代の創始、弘法大師による雨乞いの実施の社伝を持つのでこの名前になったという。温かい日の当る場所でゆっくり昼食だ。ハイキングコースで大勢の登山客が来るのだろう道はしっかり踏みしめて、標識もきっちりあるので安心して歩ける。誰かが言った「程よい登り、爽やかな冷風、すばらしい仲間気持ちいいね！」 昼食を済まして、繖山に向かった。



琵琶湖と眼下の近江商人街を見渡して

繖山 432m 山頂までの途中眺めのいい場所があり、「あの山は伊吹山か？」「いや、あれは霊仙山やで・・・」

「山は白いが雪が少ないね・・・」「あの小高い山は？」「あれが安土山なんやわ！」繖山山頂には予定通り13時に着いた。2005年3月に来た時の山頂の標識と全く変わっていなかった。

観音寺城跡 ここで守口さんに城郭と歴史推移の説明を頼んだ。佐々木六角氏築城で、繖山全山を城郭とする日本最大規模の山城だ。「佐々木六角氏・京極氏・浅井氏から京田辺市の沢井家住宅までの繋がり」など、永い年月を最短にまとめて分かりやすく説明した。石垣は残っており土塁・曲輪・石の階段・本丸跡など往時を想わせるには充分だ。天守閣は無くても、往時を思い浮かべてくれる材料がいっぱい残っている。これがいいのだ！これから観音正寺へ向おうとしたら、少し遠まわりになるから桑實寺へ直行しようとなった。時間は14時だから少しゆとりがあった方がいいので桑實寺に向った。



観音寺城 本丸跡

桑實寺 (くわのみでら) 少し歩くと「通り抜けるはできません、有料です」との標識が出ていた。寺に着くとゲートがあってピンポンとチャイムが鳴り拝観料@300円支払った。しっかりしてるわ！チャイムを鳴らしてすぐ分るようになってる。通る都度鳴るので人数も把握できるのだ。

安土駅 15時45分駅に着いた、駅前には織田信長像が変らずに扇を振って待っていた。総時間6時間、17000歩でした。ここで解散して電車に乗り込んだ。有志による打ち上げ会は京都駅のいつもの店で盛大に行った。すばらしい仲間と、天候に恵まれて、適度なアップダウンがあって・・・、三拍子揃った山行でした。次の歴史探訪にもよろしく。



(右写真 繖山山頂：岡部さん提供)